



## 第 4 回オンライン飲み会報告 & 次回お知らせ

10 月 16 日の金曜日に第 4 回オンライン飲み会をしました。今回は 9 名での飲み会となりました。

いつも通り 19 時から始める風にしていますが、別に 19 時きっかりに始まるわけではありません。（これは初めて言いましたねえ）ゆったりと皆が揃うまで世間話やら無言の時間やらが流れます（笑）今回はだいたい 20 時くらいに全員が揃った感じになりまして、そこから今回のテーマである「〇〇の秋」を話のきっかけとしてそれぞれの近況などを話しました。出てきたのは、「運動の秋」、「自立の秋」、「活動の秋」、「紅葉の秋」、「秋はない」、「お腹減った」、「眠い」などなどでした。皆やはり思う秋は違うようで、なかなか面白かったです。またこのイベントの特色として、県外の人参加しやすいということもあり、それぞれの住んでいる地域の今について話したりして、情報交換とまではいきませんが、それに近いこともできたのではないかと思います。他県の様子などを知ることができ、なかなか新鮮でした。

1 ヶ月に 1 回ではありますが、こうやって定期的に顔を合わせていると（勿論直接会っているわけではないんですが）、何かほっとすると言うか安心すると言うか、なんとも言えない「安心感」が湧いてきますねえ。とまあそんな年寄りくさいことを言いつつ、今回の報告は終わっていきましょう（笑）

次回のお知らせは下記に。

日時	11 月 20 日 19 時～終わるまで
テーマ	「今年やりたかったけどやれてないこと」
アドレス	<a href="https://zoom.us/j/92898862950?pwd=ZjFkNUdPTkRkRDFHcVExYmkxWEMzUT09">https://zoom.us/j/92898862950?pwd=ZjFkNUdPTkRkRDFHcVExYmkxWEMzUT09</a>
ミーティング ID:	928 9886 2950
パスコード:	079976

※今回はパスコードが設けられています。IDを入力後パスコードの入力もお願いします。

## 「コロナのせいで Part2」

八木勝自

私は前々回この「障」ちゃんニュースで「コロナのせいで Part1」を書きましたが、本当の書きたいことは今回のこの Part 2 で書きます。

実は私は、2016年に障害者施設のやまゆり園で19人の障害者を殺害した植松聖と私との接見や手紙のやり取りを描いた去年の北日本放送で制作したドキュメンタリー作品「19人を殺した君と重い障がいのある私との対話」という作品に出演して、番組は今年で40回目を迎えるNHKも含む全国の民間の放送局の参加する公益財団法人放送文化基金（HBF）コンクールのドキュメンタリー部門で北日本放送は優秀賞をとり、私は個人出演賞というものをクリスタル製のトロフィーと賞金20万円をいただきました。

という自慢話に聞こえることはともかくとして、私の各放送部門の表彰式が今年の9月1日に東京のホテルオークラで行われて新型コロナの蔓延でその表彰式にコロナのせいで行けなかったのです。私はなにも賞をとったから偉いとか言いたいとは思わないけど、残念だったのはその表彰式でその雰囲気を経験したり、式に集まった関係者の人と人間関係を作りたいかったのですが、それができなくて本当に悔しい思いをしました。

まあそんなことはこれを読んでいる人にはどうでも良いことです。しかし、このコロナのせいで本当に社会生活や人間関係がカチャカチャになってしまいましたね。私たちの重度障害者の介助や介護の食事介助やベッドや車イスなどへの移乗やお風呂の入浴介助などは基より、濃厚接触というものが多くて多大な影響が出ているし、聴覚障害者の人で唇の動きで言葉を理解する口話が相手が口にマスクをかけていたら全然わからないし、視覚障害者でも歩行などで手を引いたり肩に手をあてて誘導や案内をしてくれる歩行案内を受けることがなかなかできなかつたり、その視覚障害者も介助者もため

らってしまうという影響が出ています。

このコロナ禍中人間は他の動物と違って精神的にも社会的にも助け合ったり良い意味で依存してきたのです。それがコロナ騒動で感染予防ということできなくなったりしているのです。

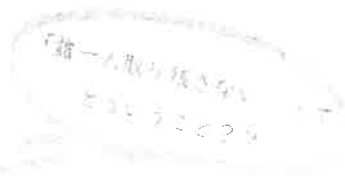
まあ、紙面の関係で文章が長くなったので、私の考えているコロナ騒動のことはまた次回の「コロナのせいでPart3」で書くことにします。



「個人出演賞のトロフィーと、いらん子というぬいぐるみ」



SDGs トークカフェ



# 〇〇でも生きやすい♥ これからの富山のカタチ

「誰も取り残さない」

誰一人取り残さない、社会の実現を目指し、SDGs（持続可能な開発目標）誰もが生きやすい社会を、富山でも実現するにはどうしたらいいのでしょうか。富山で日々生きやすさに取り組む様々な方々と直接の機会に活動されている方をゲストにお招きし、その現状を伺い、コロナ禍ならではの富山で生きやすくなるためのアイデア、このことを富山県と協力する富山県民生活サポート・トークカフェを開催します。

**1** 9/12  
14:00～16:00  
**オンラインもお寺**

**不登校/引きこもり**  
でも生きやすい富山って??  
★トークゲスト★  
富山県立高等学校富山キャンパス  
代表 坂田 良智さん

**2** 9/27  
04:00～12:30  
**オンラインのお寺**

**生き物**  
でも生きやすい富山って??  
★トークゲスト★  
富山県立大学 環境学系  
代表 山本 浩一さん、有馬 聖子さん  
富山県立大学 環境学系 代表 山本 浩一さん

**3** 10/25  
**オンラインもお寺**

**一人親家庭**

**4** 11/7  
14:00～16:00  
**オンラインもお寺**

**障がい者**  
でも生きやすい富山って??  
★トークゲスト★  
NPO法人 文福  
代表 八木 勝自さん

**5** 11/22  
14:00～16:00  
**オンラインもお寺**

**外国人**  
でも生きやすい富山って??  
★トークゲスト★  
NPO 法人 ダイバーシティとやま  
代表 宮田 妙子さん

**6** 12/20  
14:00～16:00  
**オンラインもお寺**

**性的マイノリティ**  
でも生きやすい富山って??  
★トークゲスト★  
ダイバーシティとやま富山 代表 富山大学 代表 杯 夏生さん



クラフィック・レコーディングによる対話の見える化

オンライン & お寺  
同時開催!



←9/27は  
アースデイとやま2020  
と連動開催します

**参加無料**  
となたても  
参加いただけます!

お申込み  
こちら



主催 一般社団法人 福地市民プラットフォームとやま 障とやま  
TEL 076-400-3307 | [www.info@spectraand.org](http://www.info@spectraand.org)

お問い合わせは 076-400-3307 までお願いします



先日、文福の活動にかかわりたいという女性が、障害者部会のメンバーに加わりました。

## 「よろしくお願ひします」

歩夢

障害者の私が学生街に引っ越してきて一ヶ月ちょっとになりました。

毎日がドキドキワクワクのトキメキ感です。

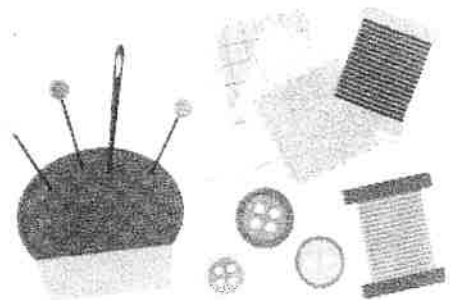
手芸・俳句・川柳・作詞・絵、自分流のスタイルを楽しんでいます。

ヘルパーさんと、手芸などの話をしながら、どんな出来上がりになるのか？  
布の配色にあっという間の日々です。

明日のために、夜は、布を並べて寝ることが、多くなりました。

少しずつですが、ぎこちない中、人らしい生活ができることを感謝しつつ、  
洗濯、料理もいっぱい工夫しています。

さあ、私も学生さんたちの街に来たのだから、気持ち若返り、色々な人たち  
と出逢って、残りの人生をフルパワーな  
人と呼ばれるようにがんばっていきたく  
ので、みなさん、よろしくお願ひいたしま  
す。



## 連続学習会のおしらせ

テーマ      コロナ禍における人権を考える  
日 時      2020年12月5日(土) 13:30~15:30  
場 所      サンフォルテ 307

### チフスのメアリー ～ウイルスは人権を侵していいのか?～



1909年ニューヨーク・アメリカン紙の記事

20世紀初頭、ニューヨーク周辺では腸チフスの小規模な流行が散発的に発生していた。メアリーは何回か勤め先を変えたが、雇われていた家の住人もこの疫病の被害に見舞われた。わかっているだけで彼女の身近で 22 人の患者が発生した。

保菌者であるという自覚のないまま、周囲の人に感染を広げる健康保菌者（無症候性キャリア）であったメアリーは、そのことを受け入れ

られず、隔離を「いわれのない不当な扱いを受けている」と思い、訴訟も行って、食品を扱わない仕事に就くことで隔離から解放された。

しかし、5年後の1915年、再び腸チフス流行の感染源として見つかったあと、再び離れ小島の伝染病専門病院に隔離され、亡くなるまでの23年間そこから出ることはなかった。

- ◎ 感染者が差別を受けるのはなぜか
- ◎ この話は、公衆衛生と個人の人権という二つの観点から議論される
- ◎ エイズのように、偏見によって特定の集団が差別を受けることがある
- ◎ 感染力が強くなくても、ハンセン病のように生涯隔離された歴史がある

参考文献 金森修 『病魔という悪の物語 チフスのメアリー』

ちくまプリマー新書/760円+税

担当 河上千鶴子

## 運営会議報告 2020 年 9 月 15 日現在

### ●各部からの報告

#### ◇学習会

11 月頃に 1 度やる予定。

#### ◇障害者部会

- ・ K さんが一人暮らしを先月末より始め人間らしい生活ができて嬉しいとのこと。
- ・ 来年の夏から、新幹線の新型車両は、全車両が車イス対応の座席のあるよう国会で決まった。また JR 駅の無人化が各路線で進むことについて話し合った。
- ・ コロナのことで意見を出し合った。

#### ◇介護・介助派遣事業部

- ・ 正職員採用面接の仕方について確認した。

#### ◇レクリエーション部会

第 3 金曜日に zoom でオンライン飲み会をしている。

#### ◇障ちゃんニュース発行部

最終火曜日発送作業と編集会議の予定。

#### ◇まっち発行部

9 月末締切だが、まだ原稿は集まっていない。

### ●事務局より

◇コロナ関係助成金申請 9 月末までに提出予定。

◇健康診断の日程がコロナの影響で来年にもなる可能性がある

### ●新型コロナウイルス感染予防対策について

◇今週末から来週にかけて感染症予防対策についての文福ハンドブックを作成・配布します。

◇コロナに常時介助が必要な利用者が感染した場合の対応・ヘルパーの研修について、保健所に質問のメールを送り回答が来た。基本的に個別の対応。今後研修も含め検討していく。

意見を出し合い、やれることをやる。必要な情報を集めハンドブックは更新していく。

### ●その他

県から感染予防の動画を見る WEB セミナーの案内が届いている。

25 日 13 時～、2 週間配信されるので皆さん見てください。

来月の運営会議は 10 月 20 日(火)サンフォルテです。

報告者：大野





## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎DV等防止啓発講座（講演はオンラインを通しておこないます）

「子どもへの性暴力が与える深刻な影響を理解し、  
適切な支援について考える」

テーマ：「子どもへの性暴力～その理解と適切な支援について～」

講師：大坂大学大学院 人間科学研究科

野坂 祐子（のさか さちこ）氏

子どもの問題行動の背景には、DVや性暴力が潜んでいることが多い。子どもへの性暴力は「いたずら」ではなく、犯罪です。そして深刻な影響を子どもに与えることを理解し、適切な対応と支援の方法を考えます。

日時：11月25日（水）13：30～15：00

場所：富山県民共生センター「サンフォルテ」

募集定員：50名程度

対象：一般、相談員、民生委員、人権擁護委員、行政担当者など

費用：無料

申し込み方法・お問い合わせ：

サンフォルテホームページ、FAX、電話からお申込いただけます。

TEL（076）432-4500（祝日・月曜日休み）

< 申込締切 > 先着順

一時保育申込締切 11/11

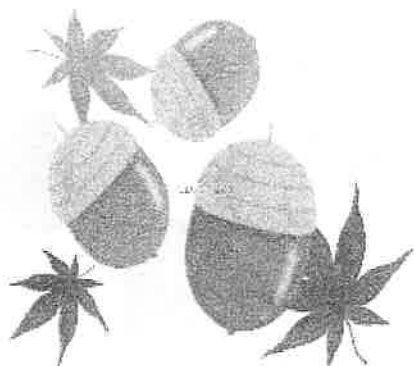
### ◎連続学習会

テーマ：コロナ禍における人権を考える

日 時：2020年12月5日（土）13：30～15：30

場 所：富山県民共生センター サンフォルテ 307





## ありがとうコーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

10月になって、一気に秋が深まって来ましたね。秋の味覚がいろいろありますが、今年も中でも、さんまが獲れなくて、鯛よりも高いとTVで言っていました。確かに高くて我が家でもまだ食べていません。

最近、芸能界の人達が自殺していますが、なんで自分の命を粗末にするのでしょうか。生きていたくても生きられない人もいるのに。かけがえのない命なのに。（アパッチ）

### \*2020年度 新規会員・継続会員\*

松田 成美さま 升谷 千春さま 居石 真理さま 保坂 和哉さま  
中島 正浩さま 桑田 愛子さま 前田 位久代さま 安村 美希さま

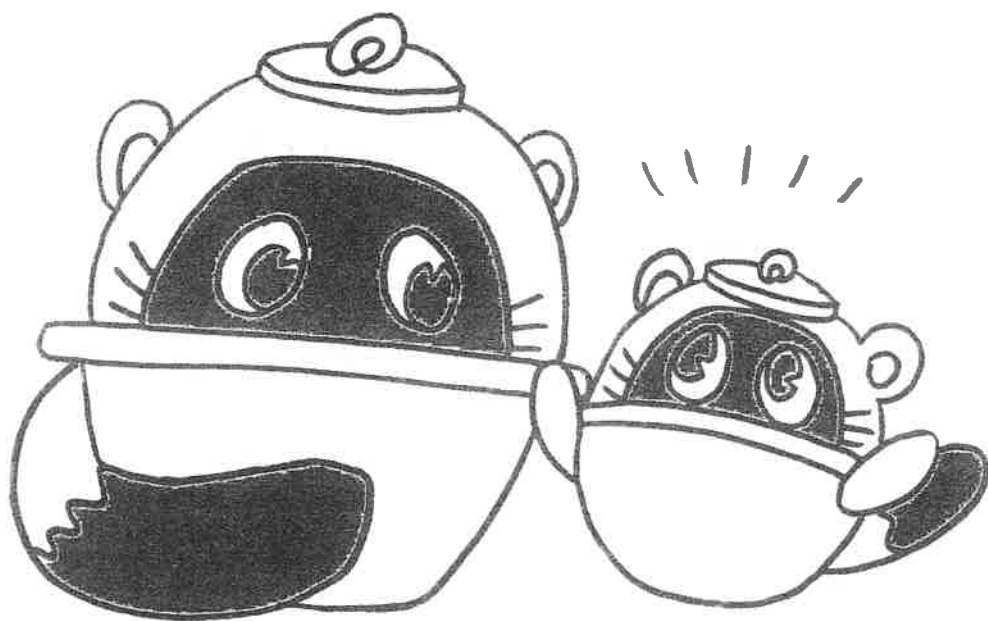
### \*カンパ\*

松田成美さま 中島正浩さま

### \*物品提供\*

フードバンクさま 下伏玲子さま 鈴木美明子さま

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
工  
5  
5  
大  
毎  
冊  
一  
二  
回  
一  
一  
三  
、  
三  
、  
五  
、  
八  
、  
一  
一  
〇  
、  
一  
三  
、  
一  
五  
、  
一  
八  
、  
二  
十  
、  
二  
三  
、  
二  
五  
、  
二  
八  
日  
(  
発  
行



発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぷく</sup> 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3  
e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp  
HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 441-6106

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。